

15年戦争資料センター 11月研究会

戦争とジェンダー―女性兵士―問題と銃後の女性

11月7日曜日に京山公民館で開催された、標記の研究会に参加してきました。テーマが大変気になり、その内容には期待するものが多くありました。報告者は難波達興さんでした。

最初にスヴェトラナ・アレクシエーヴィチ 戦争は女の顔をしていない』の紹介です。彼女は1948年ウクライナ生まれの女性です。1978〜1985年、500人を超える女性兵士からの戦争体験聞き取りの証言集です。彼女は

武器を持って戦った女性の多さ

(80万〜100万人)は、ソ連軍の特徴です。

また、この本を小梅けいとさんが漫画にしています。KADOKAWAから第1巻・2巻が出ています。(左に掲載)

16、17、18の少女たちが前線に立つ、これを漫画にすると若い人の目にも届くことでしょうか。

どうしてソ連に女性兵士が多いのか？独ソ戦は地上戦だからではないか。しかし、沖縄も地上戦だけど、女性兵士はいない。沖縄でも最後は女性も駆り出されている。

ソ連が共産主義であるからか？

国家と社会にはすきまがある。グレイゾーンがある。

女性兵士を否定するのなら、男性兵士も否定する必要がある。

フィリピンの従軍看護婦、生死の境を生き延びたのに、国からの恩給は支給されない。男には軍人恩給が支給されるのに、どうしてか？これは、召集状と召集令状の違いで、召集状は拒否できるが、令状は拒否できない。国家からの命令ですから。これにより最後まで恩給は出ない。

従軍看護婦さんの話し、満州でも収容所に入れられていた時には生理がとまっていたが病院に派遣されて生理が再開した。

収容所での話し、生理の時、ソ連兵から新聞を貰って、水に濡らして

使った。

国防婦人会で活躍した女性たちの言い分、家庭では、姑に支配されて居場所がない、国防婦人会には居場所があった。

女性兵士創出の比較歴史研究―日本・ソ連・アメリカ

日本：1945年6月の義勇兵役法」のなし崩しの成立。沖縄戦から本土決戦へ。ナシヨナリズムがジェンダー規範を圧倒する局面で、幻の女性兵士となる」即決戦戦略思想

ソ連：戦士として実戦配備された女性兵士。ソ連軍全体の8%を女性兵士が占める。質的にも量的にもソ連軍は突出。長期戦略思想

アメリカ：兵士性を期待されなかった。後方支援任務に職務が限定。長期戦略思想

盛りだくさんのお話でした。

真田紀子



次回の新聞送作業は11月29日(月)午前10時半から民主会館1階で行います。前回お手伝いくださった方です。

小林 竹内 袈